

### 学園祭テーマ『感謝』

#### ～みんなへ届け!! 心から…ありがとう～



今年の学園祭は、11月7日～9日の3日間。初日の7日は蟹江中央公民館で芸術フェスティバル。チャ部・軽音楽部を含む11グループがダンス・合唱・創作劇など多彩な企画を披露した。

2日目は、水谷修(夜回り先生)による「さらば哀しみの青春」の記念講演。

3日目は、『感謝』を形にテーマの本祭。

普段の何気ない生活に「ありがとう」と感謝出来ることが大切。そこで、世界には普通の生活が出来なかつたり、学校に行きたくても行けない子供たちが沢山いることを理解し、「教育を受ける喜びと、未来に向かう子供たちに笑顔」を合言葉に、「カンボジアに学校設立!」に取り組んだ。

まずは、カンボジアの現状を知ることから始まったが、授業でもその活動がなされ、特に課題研究授業「平和国際領域」『LOVE&PEACE』では、インターネットを活用して調べた内容を基に各自が思いを綴った。(以下に二つを紹介)

他にも様々な学習がなされた上で、実現に向けての企画「幸せの手形ハンカチ」、「お笑いチャリティーライブ」、「アルミ缶回収」、「書き損じハガキ回収」、「カンボジア募金」、「チャリティーバザー」に取り組んだ。

それなりの成果は上げられたが、今年だけでは学校設立の準備金は集めきれなかった。この思いは来年以降に引き継がれる。実現される日が一日も早く来ることを期待したい。

## あたり前のことに 感謝できる 自分でありたい

「Happiness to Cambodian」  
水谷 江里奈

私は、この授業でカンボジアの子供について調べました。なぜ、そのテーマにしたかという点、同じぐらいの子達の事を調べた方が自分の気持ちに置きかえられ、その子達の気持ちが少しでも分かるような気がしたからです。ところで、皆さんはストリートチルドレンを知ってますか?

ストリートチルドレンとは、家がなく外で暮らす子供たちの事です。その子達は、道行く人達に物貰いをして生

## 他人の痛みを知り 幸せを分けてあげたいと 思える心が大切

きています。カンボジアには、ストリートチルドレンの子供もいます。：10代ぐらいの女の子達は、お金がない自分の家庭の為に、売春をすることもあります。カンボジアのある女の子は、親に騙され、強制的に働かされています。：その女の子も可哀想だけど、自分の子供を売らなげや生活出来ないから、そうするしかなくなつた親もすごく辛いと思います。そういつた貧しい人達が多いので、学校に行ける子なんてほんのわずかです。

：私は、この学習を通じて世界平和とは、：皆が他人の痛みを知り、貧しい国の人達に幸せを分けてあげたいと思う心が一番大切だと思います。一人でも多く思えば、貧しい国は幸せになると思っています。それが一番大切なことだと思えました。

## 普通の生活を送っている皆さんへ

岩本 麻友美

カンボジアには学校が少ない。だから学ぶことができない子供がたくさんいる。今回、学園祭のメイン企画にカンボジアに学校を建てる企画があった。親友といえる友達とその企画を担当しており、必死で応援した。募金をやると言ったら一緒に呼びかけ教室も回った。自らやらなければ誰もやってくれないと思ひ、真つ先に募金し、アルミ缶も必死で集めた。私が必死になったのは、ある話を聞いたからだ。

16歳で文字も読めない人がいる。そのせいで地雷を踏んでしまい、足を失った。そんな子供たちがカンボジアにはたくさんいるのだ。：。授業でカンボジアの子供たちの写真を集めた。その中には笑顔が光つていた。学校の授業風景の写真もあった。嬉しそうに楽しそうに勉強していた。今の日本の授業でそんな光景を見たことない。カンボジアの子供たちは勉強したいのに勉強できない。日本の子供たちは勉強したくないのにさせられている。なんかこの世の中がおかしいように感じた。

300円ぐらいで作れる地雷で足や手が失われ、時には命が失われてしまう。そんな世界で生きているカンボジアの子供たち。そんな子供たちに少しでも笑顔を与えられる場所を作つてあげることができないのか。

：「人に笑つてもらえたら嬉しくないですか」、「人にありがとうって言われたら嬉しくないですか」、「笑顔を見たら幸せな気分

## 今ある笑顔を守り 新たな笑顔を増やす

★Smiling all over the world★



持ちになりませんか。：。そんな笑顔をつくりたいと思います。今ある笑顔を守り、新たな笑顔を増やしていく。同じ地球上に生きている仲間のために。今生きていることに感謝して、この場にいられることに感謝して仲間のために。：。たった一つのことです。笑顔が生まれるはずで